

# 至 誠



小美玉市立小川南中学校 学校だより  
NO. 15 令和元年 7 月19日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成

キーワード 至 誠 ～ 精一杯 心をこめて ていねいに ～

## 1 学期を振り返って

7 月 19 日の終業式では、各学年の代表が 1 学期を振り返って作文を発表しました。

### 1 学期努力したこと

#### 1 年 木植 渉

僕が 1 学期に特に努力したことは、中学校という全く新しい環境の中で、全く新しいクラスメイトと生活するということです。

中学生になってからの毎日は想像以上にハードなものでした。当たり前だと思っていた日常生活がとたんに難しいものに変化し、入学当初は普段通りの生活ができないことに不安を感じていました。そして追い打ちをかけるように部活動や定期テストが始まると、さらに不安が大きくなっていきました。日に日に激しさを増す部活動、中間テストのプレッシャー、初めてのことが多すぎてつぶれそうになることが何度もありました。そんな慣れない生活が続く中で、僕は何をすることが今一番大切かを考えました。そして、まずはこの生活に慣れることが大事だと考え、ゼロからすべてをやり直すことにしました。すると、今まで感じていた不安が徐々に解消されていき、日常生活が当たり前ものになっていきました。部活動にも慣れて、勉強と両立させながら、部活動にも勉強にも全力を出せるようになりました。

1 学期を通して僕は、中学校の難しさを痛感しました。しかしそれと同時に当たり前だと思うことを当たり前にするの大切さを知りました。2 学期からも日常生活の当たり前のことを大切にしながら、部活や勉強、行事などに今までよりも多くのことに挑戦していきたいです。

### 1 学期頑張ったこと

#### 2 年 郡司 望美

1 学期は部活や勉強が忙しくあっという間の毎日でした。そんな中、特に私が頑張ったことが 2 つあります。

1 つ目は校外学習です。今年の校外学習は鎌倉に行きました。私たちの学年が初めてだったのですべてが 0 からのスタートでした。私は実行委員になり不安な気持ちがとても大きかったです。実行委員の話し合いでも意見が出ずに静かになる場面がたくさんありました。それでも、

話し合いを進めていく中で意見を言う人が増え、話し合いがまとまっていきました。そして、一人一人の心に残る校外学習を作り上げることができました。

2 つ目は部活動です。県大会出場を目標に練習を頑張ってきました。時には仲間とぶつかり合うこともありました。大会当日、緊張がマックスになる中、チームのみんなが笑顔で接してくれたおかげで気持ちが楽になりました。その結果、私たちはすべてを出し切り、後悔のない試合をすることができ、県大会出場を果たすことができました。

私はこの 1 学期に諦めない心を学びました。今までは自分で限界をつくり「もう無理だ」と考えてしまうことがありました。しかし、これからは「もっと頑張れる」と失敗を恐れず挑戦していきます。

### 1 学期を振り返って

#### 3 年 杉田 大空

4 ヶ月の 1 学期はあっという間に過ぎていきました。総体などいろいろな出来事がありましたが、特に印象に残っていることを 2 つ話します。

5 月に 3 年生で一番大きな行事の修学旅行がありました。学校生活では 2 分前着席ができていなかったのも、僕は部屋長として時間を守ることを特に意識しました。また、整列の呼びかけや点呼にも気をつけ、集団行動がスムーズにできるようになりました。3 日間の修学旅行はあっという間でしたが、とても楽しく過ごすことができ、たくさん思い出を作ることができました。

2 つ目は部活動です。僕はサッカー部に所属しています。6 月 19 日、総体が始まりました。僕たちはこの大会で勝利し、中央地区大会に出場することを目指して、練習に取り組んできました。結果的には中央地区大会には行けませんでした。練習試合で一度も勝てなかった小川北中に勝つことができ、今までの試合の中で一番印象に残り、一番うれしい瞬間を仲間と味わうことができました。

2 学期は体育祭があり僕は団長を務めます。今年に応援のパフォーマンスだけでなく、すべての種目が団での取組になりました。団をまとめていけるか不安もありますが、新しい体育祭を絶対に成功させたいという気持ちがあります。この気持ちを忘れず、団長としてどんなときも率先して動きます。そして、華炎団のみんなと優勝を味わいたいと思います。